

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和7 年 8 月 18 日

会派名 日本共産党

16番議員 氏 名 三輪寿子

質問題名	小中学校女子トイレ・公的施設のトイレに生理用品の設置を！
質問要旨	① 「生理について」学校・保健室を通した相談・行政担当窓口での女性特有の健康相談がどんな支援につながったのか？ ② 内閣府調査によると令和7年度「生理と貧困」に係わる取り組み開始した具体的事例・実践例が紹介されているが、当市は女性の健康と権利を尊重するため生理用品を設置する意図があるのか？ ③ 学校・公共施設女子トイレ内に生理用ナプキンを設置した場合、具体的な設置内容と設置費用・予算措置内容・周知方法についてどのような見通しか？
質問項目①	「生理について」養護教諭に寄せられた相談・担当課窓口相談から生活困窮自立支援・生活保護申請・自立支援につながった事例はあるか？
質問項目②	現在、初潮～閉経まで30年～40年・月経回数は平均、約450回。生理用品負担額は50万円以上と経済的負担が大きい。自己責任ではなく公的支援で女性の健康と権利を尊重する必要がある。●全小中学校のトイレ・公的施設に生理用品の設置を求めるがどのように考えているか？
質問項目③	厚労省は2022年「生理の貧困は女性の健康や尊厳にかかわる重要な課題」として「地域女性活躍推進交付金」が補助対象とされた。提供方法は「公共施設、小中学校トイレに生理用品を整備し、自由に受け取れるようにする」「配布方法は自治体の判断」としている。●実施した場合、生理用品の全小中学校女子トイレ設置費用・公共施設女子トイレ設置費用はどれ程かかるか？又、予算の措置内容、周知方法どのように考えているか？
質問の相手方	市長・教育長